

mail

こんな声がよせられました

娘が知的障害児通園施設のすぎのご学園でお世話になっています。

今日は吹田市の福祉環境常任委員会の会議を傍聴させていただきました。松本さんが委員会で意見をいろいろしてくださって、ほんとうにありがたく思いました。一市民である障害者のことも真剣に考えてくださっていると感動しました。

障害児の給食費の件ですが、1ヵ月8800円と聞いています。小学校は1ヵ月3500円と聞いていますが、小学生より小さい子供の方が三倍近く値段が高いというのが何故なのかわからないのです。障害の為、量もそんなに食べられないのが現実です。

もちろん、応益負担も納得できません。どうか住みやすい、安心できる世の中にしてください。お願いいたします。

障害者自立支援法適用に伴う
わかたけ園・杉の子学園・吹田療育園の
利用負担額の軽減の予算

497万1千円

(3年の間現行負担額の2倍以内に緩和)

地域生活支援事業の利用料負担軽減の予算額

668万6千円

(負担上限月額を所得に応じて2千円、4千円に設定)



10月から障害者自立支援法の本格実施が始まる中で、吹田市では、100団体を超える皆さんが一致団結して、粘り強い運動がすすめられました。その声に応えて、吹田市では負担の激変緩和策が実

**障害児施設の
応益負担条例に反対
市の負担軽減策には賛成
日本共産党**

10月より
障害者
自立支援法
本格実施

9月
定例会

吹田市議会9月の定例会は、9月6日から10月3日までの会期で開催されました。日本共産党からは、竹村博之議員が代表質問を、松本洋一郎議員、柿原まき議員、山根たかし議員が個人質問をそれぞれ行いました。

市民の願いを市政に 日本共産党

代表質問で日本共産党は 次の質問をおこないました

▶ 格差社会から市民の暮らしを守る公的責任を
「小泉構造改革」によって社会保障が削除され、市民の暮らしが悪化している。こんな時だからこそ自治体として公的責任を果たすべき。

▶ 自治基本条例について
(住民投票制度を骨抜きにした案に反対)
「梅田貨物移転の是非を問うための住民投票」を否定しておいて、市民参画、市民自治では自己矛盾に陥らないのか。

▶ 梅田貨物駅移転問題

- ① 工事説明会の実施状況
- ② 事後監視の充実を
- ③ 東部拠点開発事業は地元の要望を聞いて緑化を拡大せよ



松本洋一郎議員

日本共産党
吹田市議会議員団



倉沢さとし議員



そろり邦雄議員



山根たかし議員



村口はじめ議員



竹村博之議員



塩見みゆき議員



柿原まき議員